

舞アト・キリ (続き)

地 中の御前は
 シテ 薬師如来
 地 薬となつて
 シテ 二世を助く
 地 一萬文殊
 シテ 三世の覚母たり
 地 十万普賢
 シテ 満山護法
 地 数々の神々彼のかんなぎにつくも髪の 御幣も乱れて空に飛ぶ鳥の 翔り々て地にまた踊り 数珠をもみ袖をふり 擧足下足の舞の手をつくし これまでなれや 神はあ がらせ給ふと云ひ捨つる 聲のうちより狂ひさめて 又本性にぞ なりにける

二〇一九年二月十八日(月)

臥牛サロン 第八回

能 卷 絹 の 物 語

プロデューズ

田崎 甫

(宝生流能楽師)

於 臥牛敷舞台

富士宮市粟倉南町一三二

舞台当主 高橋千洋

(富士宮市中央町在住)

出演者



田崎 甫 はじめ

シテ方宝生流職分
 1988年 神奈川県生まれ、叔父の宝生流能楽師 田崎隆三に師事。2011年 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、20代宗家宝生和英の内弟子に入る。同年「金札」で初シテ。2018年内弟子を終え独立。富士宮「羽衣教室」、九段「幸宝会」を主宰。



葛野 りさ かどの

シテ方宝生流職分
 平成元年生、富山県富山市出身。20代宗家宝生和英に師事。平成23年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。平成24年「清経」ツレにて初舞台を踏み、平成29年「田村」で初シテ。

臥牛サロン

- 3月18日 (月) 18:30～ 能「百万」の物語
- 4月22日 (月) 18:30～ 能「花筐」の物語
- 5月20日 (月) 18:30～ 能「杜若」の物語

お稽古：臥牛敷舞台にて【個人レッスン：謡・仕舞】

※舞台で所作体験：参加費1千円(要予約)

- 3月4日 (月) 稽古16時-,所作体験18時-,事前説明18:30-
- 4月8日 (月) 稽古16時-,所作体験18時-

「臥牛サロン」お問合せ：090-2757-0620 (たざき)

メール：hajime-noh-ippo@outlook.jp

運営：たのじ合同会社(代表 田崎玄吾)

〒417-0047 静岡県富士市青島町195番地の3

グレース富士603号

- 一 ワキ名乗り・ご挨拶
- 二 ツレ次第
- 三 シテ呼掛
- 四 サシ、クセ
- 五 祝詞、キリ

「巻絹」(まきぎぬ) 四番目物 神楽物

季節 冬

場所 紀伊国熊野本宮(和歌山県田辺市)

シテ 熊野本宮の巫女(天満天神の憑霊)

ツレ 都の男

ワキ 今上天皇の勅使

アイ 勅使の下人

ワキ名乗り

ワキ 是は当今に仕え奉る臣下なり
 偕も我が君あらたなる霊夢を蒙り給ひ
 千足の巻絹を
 三熊野に納め申せとの宣旨に任せ
 国々より巻絹を集め申し候
 さる間都より参るべき巻絹未だ遅なは
 り候 参りて候はば
 神前に納めばやと存じ候

ツレ次第

ツレ次第 今を始めるの旅衣
 今を始めるの旅衣紀の路にいざや急がん

上歌 急ぎ候程に 三熊野に着きて候

まづまづ音無の天神に参らばやと思ひ
 候や 冬梅の匂ひの聞え候

いづくにか候らん これなる梅にて候
 此梅を見て何となく思いつらねて候
 南無天満天神 心中の願いをかなへ給ひ

サシ・クセ (続き)

眠り遙かに 眼を去る

クセ これによって 本有の靈光忽ちに
 照し自性の月 漸く雲をさまれり

一首を詠ずれば 萬の悪念を遠ざかり
 天を得れば清く 地得れば安しあらかし
 め

唯一実相唯一金剛とは説かずや

シテ されば天竺の 婆羅門僧正は

行基菩薩の御手を取り 靈山の
 釈迦のみもとに契りて真如朽ちせずあ
 ひ見つと詠歌あれば御返歌に

伽毘羅衛に契りし事のかひありて
 文殊の御顔を 拝むなりと互に

佛佛をあらはすも和歌の徳にあらずや
 又神は出雲八重垣片そぎの寒きよのた
 め

神のしめ結ふ糸桜の風のどけとぞ思は
 する

ツレ次第 (続き)

候へと
 いひもあへねば言の葉を心の中に手向
 つつ 急ぎ参りてまづ
 君に仕え申さん いかに申し候
 都より巻絹を持ちて参りて候

シテ呼掛

シテ なうその下人をば何しに縛め給ふぞ
 其者は昨日音無の天神にて
 一首の歌を詠み我に手向し者なれば
 納受あれば神慮
 少し涼しき三熱の
 苦しみを免かるそののみか
 人倫心なしその縄解けとこそ

サシ・クセ

サシ されば樂しむ世に逢ふ事

これ又總持の義によれり

地 言葉すくなうして理りを含み

三難耳絶えて寂然閑静の床の上には

祝詞・舞アト・キリ

ワキ さあらば祝詞を参らせられて
 神をすずしめ御申し候へ

シテ 心得申し候 謹上再拜

抑當山は 法性国の巽

金剛山の靈光 此地に飛んで靈地

となり 今の大峰これなり

されば御嶽は金剛界の曼陀羅

地 華藏世界 熊野は胎蔵界

シテ 密厳浄土 「地 ありがたや

ふしぎや祝詞の神子物狂い

不思議や祝詞の神子物狂ひのさも

あらたなる 飛行を出だして 神語りす

るこそ 恐ろしけれ

シテ 證誠殿は阿弥陀如来

地 十悪を導き

シテ 五逆をあわれむ